

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に搭載された教科書総数	本報告書の総ページ数
小学校	英語	7	8

調査研究の観点及び各教科書の特徴

観点 発行者	基礎・基本の定着	主体的に学習に取り組む工夫	内容の構成・配列・分量	内容の表現・表記	言語活動の充実
2 東書	<ul style="list-style-type: none"> 単元の冒頭に Our Goal として、各単元の学習目標を提示している。 文及び文構造に繰り返し触れる機会を設定した単元がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 見開きページを活用して、単元名、学習のめあてとともに、世界の建物や食べ物等の写真やイラストを掲載している。 二次元コードを活用し、世界の有名な建物や食べ物等について聞く・読む・書く活動、歌やチャントを設定している。 	<p>【全体の構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間の8単元を3つのテーマに分けて設定している。 単元末に「Enjoy Communication」(話す活動)、テーマ毎の最後に「Check Your Step's」を設定している。 巻末の絵カード資料等がある。付録として、辞書として活用可能な資料「Picture Dictionary」がある。 <p>【単元の構成・分量例】</p> <p><5年 Unit 1> 8ページ Starting Out 聞く Let's Try 1 話す</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1ページ1時間扱いの見開き構成となっている。新ユニバーサルデザイン書体で、4線ノートの幅や線種、基線の色使いが示されている。第2線と基線の間幅が広くしてある。 ユニバーサルデザインの視点から、活動が紙面上の定位置に配置してあることや指示文のアイコンが示されている。 5領域に関連したキャラクターを設定し、紙面に明示している。 巻末資料、付録等として、絵カードやコミュニケーションカード等が設定さ 	<ul style="list-style-type: none"> 言語の使用場面や働きを重視し、「Small Talk」、「Sound and Letters」が各単元に設定されている。 英語を使用する日常の場面が設定されている。5年生では日本、6年生では世界を取り上げるように示されている。

			Let' s Listen1 聞く Let' s Try2 話す Let' s Listen2 聞く Let' s Try3 話す Enjoy Communication 聞く 話す 読む 書く Over the Horizon 聞く 読む 書く 話す	れている。	
9 開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> 単元の冒頭に、各単元の学習目標を提示している。 文及び文構造に繰り返し触れる機会を設定した単元がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 見開きページを活用して、単元名、学習のめあてとともに、世界の建物や動物、食べ物等の写真、国旗と国名を掲載している。 二次元コードを活用し、ツアープランナーの話聞く活動、チャンツ、ゲーム、クイズを設定している。 	<p>【全体の構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 9単元のLessonが設けられている。 各単元末のLet' s Tryで話す活動、前・後期末の2回にProject（集会等のスピーチ活動）がある。巻末には、辞書として活用できる資料（アルファベット順）や絵カード等が設けられている。 <p>【単元の構成・分量例】</p> <p><5年Lesson1>6ページ</p> Let' s Listen1 聞く Let' s Sing1（歌う） Let' s Sing2（歌う） Let' s Play1 書く Let' s Play2（並べる等） Let' s Play3 読む Let' s Read and Write 書	<ul style="list-style-type: none"> 児童の記入欄には罫線を用いている。 4線の幅を4：5：4の間隔で示されている。基線を太い青色で表示している。 英語を書くときのポイントをアドバイスするキャラクター（鉛筆）等を設定している。 巻末資料、付録等として、ふろく1～8（単語リスト、絵カード等）が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「読み・書き」は教科書後半に独立してまとめられている。 語彙等の知識を身に付けた後、表現活動で実際のコミュニケーション活動につながる構成になっている。日常生活に関する題材を扱い、ペアやグループ活動が設定されている。

			<p>く</p> <p>Let' s Play 4 聞く</p> <p>Let' s Play 5 聞く</p> <p>Let' s Listen 2 聞く</p> <p>Let' s Try 話す</p>		
<p>11 学図</p>	<ul style="list-style-type: none"> 単元の冒頭にレッスンの目標として、各単元の学習目標を提示している。 文及び文構造に繰り返し触れる機会を設定した単元がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元冒頭にはレッスンのとびらとして、単元名、学習のめあてとともに、学習の進め方を掲載している。 学級の児童が行きたい場所について話している内容を聞く活動、歌を設定している。 	<p>【全体の構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻頭には、Pre-Lessonで中学年の復習を設定している。また、10のLessonが設けられている。 単元末に Use & Check, 年間2回の Project Time では、学習した内容を活用する設定である。 巻末には、「Word Corner」や各 Lesson の「Song for Lesson」や絵カード等の資料がある。 <p>【単元の構成・分量例】</p> <p><5年 Lesson1>12ページ</p> <p>L. 1A</p> <p>Let' s Listen</p> <p>Let' s Chant</p> <p>聞く 話す 読む 書く</p> <p>L. 1B</p> <p>Let' s Listen</p> <p>Let' s Chant</p>	<ul style="list-style-type: none"> 4線の幅が5：6：5の間隔で示されている。ユニバーサルデザインフォントやカラーユニバーサルデザインを用いている。 巻頭に8人の人物を紹介しており、2学年間を通して共通した人物が繰り返し登場している。 巻末資料、付録等として、World List やローマ字表が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 文を提示する際、文頭の表現を揃えている。 「自分にあてはまるものだけ」、「その人になりきって」繰り返し話す活動が示されている。 やりとりや発表の活動の目的が示されている。

			聞く 話す 読む 書く L. 1 C Let' s Listen Let' s Chant Use&Check 聞く 話す 読む 書く Alphabet Corner 読む		
15 三省堂	<ul style="list-style-type: none"> 単元の冒頭に、各単元の学習目標を提示している。 文及び文構造に繰り返し触れる機会を設定した単元がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 見開きページを活用して、単元名、学習のめあてとともに世界地図、世界の建物や動物、食べ物等の写真やイラスト、国名を掲載している。 二次元コードを活用し、世界の有名な建物や食べ物等の写真やイラスト見ながら英語を聞く活動を設定している。 	<p>【全体の構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻頭には、中学年の復習教材を掲載している。 学期毎に「HOP」「STEP」「JUMP」の構成になっている。「JUMP」では、「紹介等の活動」が設定されている。年間3回のPresentationがある。 巻末には、アルファベットカードや辞書として活用できる資料が掲載されている。 <p>【単元の構成・分量例】</p> <p><5年 Lesson 1>10ページ</p> <p>Listen&Talk 聞く 話す Soud Chant 話す Story 聞く Listen&Talk 聞く 話す Word Chant 話す Alphabet 読む</p>	<ul style="list-style-type: none"> 児童の理解をサポートするキャラクターを設定している。 5領域に関連した活動の種類を示すマークを設定している。 巻末資料、付録等として、ふろく（CAN-DO リスト、Words & Phrases 等）や別紙（アルファベット表、日本語のローマ字表）が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 文及び文構造、語彙は単純なものから複雑なものへ段階的に配置するとともに、大単元の言語活動の目標に合わせて選択・配置をしている。 児童の気付きにつなげるヒントを活動や脚注に入れている。 語彙については、全ての語彙が表現のための語彙として扱われ、大部分はイラストとともに綴りが提示されている。 コミュニケーション活動で利用できる語彙や表現のリストが巻末に配置されている。

			Listen&Talk 聞く 話す Talk to Friends 聞く話す Enjoy Listening 聞く Write & Talk 書く		
17 教出	<ul style="list-style-type: none"> 単元の冒頭に、各単元の学習目標を提示している。 文及び文構造に繰り返し触れる機会を設定した単元がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 見開きページを活用して、単元名、学習のめあてとともに世界地図、世界の建物や動物、食べ物等の写真やイラスト、国名を掲載している。 登場人物の行きたい旅行先について映像と合わせて聞く活動、チャンツ、外国の人におすすめしたい日本旅行先について考える活動を設定している。 	<p>【全体の構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻頭には、中学年の復習内容「Start Together」等が丁寧に掲載されている。 各単元「Lesson」はPart 1～5で構成され、Final Activity において活用する活動を設定している。学期毎に国際理解コーナーがある。 巻末には、辞書として活用できる資料や絵カード等が設けられている。 <p>【単元の構成・分量例】</p> <p><5年 Lesson1>10ページ</p> <p>Let's Watch Let's Sing Let's Think Let's Listen 1 聞く Let's Listen 2 聞く Let's Say It Together Think 2 聞く Activity 1 話す</p>	<ul style="list-style-type: none"> 配色やレイアウト、表現方法、フォントについて、カラーユニバーサルデザインで示されている。 障がいのある人が描いた作品を教科書に掲載し、さまざまな人々との共生に関する資料が示されている。 第5学年の最初の単元に10人の人物を紹介し、第6学年には新しい担任と転入生が加わり、2学年間を通して共通した人物が繰り返し登場している。 巻末資料、付録等として、My Word Bank やアルファベット表、絵カード等が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本語と英語の語順の違い等の気付きを促す活動が設定されている。 各単元では、目標となる表現活動につなげるために、段階的に活動が設定されている。 各単元末の「Final Activity」では、学んだ内容を活用して、目的を持って取り組むコミュニケーション活動が設定されている。

			Activity 2 話す Final Activity 話す The Alphabet 読む 書く		
38 光村	<ul style="list-style-type: none"> 単元の冒頭に、GOALとして、各単元の学習目標を提示している。 文及び文構造に繰り返し触れる機会を設定した単元がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 見開きページを活用して、単元名、学習のめあてとともに世界地図、世界の建物や動物等の写真やイラスト、国旗を掲載している。 映像を見ながら、世界の国々について会話を聞く活動やゲームを設定している。 	<p>【全体の構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻頭にスタート教材「Let's start」が掲載されている。 各単元のUnitは、Hop!⇒Step1・2⇒Jump!の順に構成している。 学期の単元間に国際理解コーナーが設定されている。 単元末には、JumpのCan you do it!における話す活動やFun Timeが設けられている。 巻末には、辞書として活用できる資料や絵カード等が設けられている。 <p>【単元の構成・分量例】 <5年Unit 1>10ページ Story Let's play Let's watch 聞く 読む Let's Listen 聞く 読</p>	<ul style="list-style-type: none"> 4線の幅とユニバーサルデザインを使用している。 第5学年の巻頭に「主な登場人物」として、7人の人物と学習を助けるキャラクターを紹介し、第6学年には新たに転入生が加わり、2学年間を通して共通した人物が繰り返し登場している。 巻末資料、付録等として、学びのパスポート、ローマ字の表、絵辞典、絵カード等が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 読むこと・書くことは、聞くこと・話すことに慣れ親しんでから、文字→単語→語句→文と、段階を踏んだ活動が設定されている。 重要な語彙については書く活動も含めて何度も触れられている。 小学校3年生から慣れ親しんだ表現の復習ができる構成になっており、各単元末の「You can do it !!」では、これまで学んだ表現を使ったコミュニケーション活動が設定されている。

			む Let' s chant 聞く 話す Let' s play Let' s try 聞く 書く Let' s write 書く Let' s watch 聞く Let' s Listen 聞く Let' s chant 聞く 話す Let' s try 聞く 書く Let' s play Let' s try Let' s write 書く You can do it 話す Alphabet Time 読む 書く		
61 啓林館	<ul style="list-style-type: none"> 単元の冒頭に、GOALとして、各単元の学習目標を提示している。 文及び文構造に繰り返し触れる機会を設定した単元がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 見開きページを活用して、単元名、学習のめあてとともに世界地図、世界の建物や動物、食べ物等の写真やイラスト、国旗を掲載している。 夢の海外世界旅行について聞く活動を設定している。 	【全体の構成】 <ul style="list-style-type: none"> 年間8単元「Unit」である。 各単元末の「Activity」において、話す活動、各学期の最後に「Review」で、学習したことを活用する活動を設定している。 各Unitは、扉／Part1（導入の学習の動機づけ）、Part2、Part3、振り返り等となっている。 巻末には、辞書として活用できる資料や絵カード等が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> めあての横に児童が達成度を確認できる図が示されている。 文節や意味による改行、ユニバーサルデザイン書体を使用している。 巻頭に「登場人物」として、9人の人物と2羽の鳥を紹介して、2学年間を通して共通した人物が繰り返し登場している。 5領域に関連した活動の種類を示すマークを設定している。 巻末資料、付録等として、 	<ul style="list-style-type: none"> 文字に触れる場面を設定し、段階的に文字を読んだり、書いたりする活動が設定されている。 基本的な語彙は、「Listen and Play」やチャンツなどで示しており、その後の「Listen and Say」や「Listen and Do」で繰り返し活用する場が設定されている。 単元末の「Activity」では、学んだ表現を使ってやりとりや発表をするまとめのコミュニケーション活動を行

			<p>【単元の構成・分量例】 <5年Unit 1>10ページ Listen and Guess 聞く Listen and Play 聞く Chant 話す Listen and Say 聞く 話す Listen and Do 聞く Jingle 聞く 話す Chant 聞く 話す Listen and Do 聞く Activity 話す Listen and Do 聞く Chant 聞く 話す Activity 話す 書く Let's Read Write 読む 聞く 書く</p>	<p>アルファベット表, 絵カード等が設定されている。</p>	<p>う構成になっている。</p>
--	--	--	---	---------------------------------	-------------------